

お祝いの言葉

愛媛大学長 大橋 裕一

愛媛大学をご卒業・ご修了される皆さん、おめでとうございます。心よりお祝いを申し上げます。併せまして、ここまでお子様を育ててこられましたご父兄の皆さま方におかれましては、お慶びもひとしおのことかと拝察いたします。重ねてお祝いを申し上げます。

さて、思い起こせば、皆さんが期待に胸を膨らませ、愛媛大学に入学されたのはついこの前のこと、あつという間の大学生活だったのではないのでしょうか。在学中は、幾度となく困難な壁にもぶつかられたのではないかと思います。多くの友人や先輩、後輩、そして指導教員や、地域の方々との出会いや触れ合いの中でこれを克服し、人間として一回りも二回りも大きく成長されたことでしょう。皆さんが得られた様々な経験や教訓は、今後の人生を生きていく上でのかけがえのない財産となるはずです。

大学院へと進学される方、社会人として新しい世界へ踏み出す方と、皆さんの卒業後の道は各人各様かとは思いますが、「愛大学生コンピテンシー」を身につけられた皆さんにおかれましては、本学で学んだ知識や技能を存分に生かし、自信をもって次の一步を踏み出してください。ますますのご活躍を期待いたしております。

しかしながら、晴れの門出にあたり、「新型コロナウイルス感染」という思いもかけないアクシデントに見舞われ、卒業式・学位授与式を中止せざるを得ない事態となったことは大変残念でなりません。卒業生・修了生をはじめ、関係の皆様方におかれましては、その日を心待ちにしておられたことは重々承知いたしておりますが、皆さんの健康と安全を最優先する上での苦渋の判断でした。どうか、ご理解をいただきますようお願いを申し上げます。

今回の「新型コロナウイルス感染」ですが、2008年のリーマンショック、2011年の東日本大震災に続く大きな危機と言えるでしょう。この難局を如何に乗り切っていくか、政府およびこれを支える関係者の手腕が大いに問われるところですが、重要なのは、生じている事象を俯瞰し、正しい情報をもとに分析を行い、それに基づく解決策を立案構想できる力です。

信頼できる疫学調査とそれに基づく治療指針の構築、特効薬の開発など、医学面、医療面での対応はもちろん不可欠ですが、根本的な解決に向けては、経済、教育、福祉など、他の多くの分野の人々の力を結集し、科学的な裏付けと社会的な妥当性を有する施策を生み出さねばなりません。まさに今、「共創」という言葉に象徴されるように、科学者と社会のステークホルダーとによる協働作業が不可欠であり、科学知と経験知の統合を目指す transdisciplinary (超学際的) なアプローチが必要とされているのだと思います。

皆さんの中でこのウイルス感染の制御に直接関与できる方はあまり多くはないでしょうが、大切なのは、みんなでこの感染症に対峙しようという一体感、すなわちパートナーシップの醸成です。たとえ個々の力は小さくても、それはチェーンのように繋がって増幅し、必ずやポジティブな成果を生むはずです。SDGsの17番目の目標「パートナーシップで目標を達成しよう！」を合言葉に、この災禍から、地域をそして世界を守りましょう！

なお、卒業式・学位授与式が中止となった皆さんへは、本学からのささやかな祝意を表すプレゼントとして、各キャンパス内に記念パネルを設置させていただきました。是非、友だちやご家族と一緒に卒業・修了記念のスナップ撮影にご利用ください。さらに、この秋、11月14日に実施予定の「愛媛大学第11回ホームカミングデー」では今回の卒業生向けの特別企画も考えています。是非、母校に戻ってきてください。元気な顔で再会できることを楽しみにいたしております。

最後になりましたが、愛媛大学はこれからも地域とともに輝く大学として、「地域から信頼され、地域から愛される大学」を目指し活動してまいります。皆さんにおかれましても、愛媛大学で学ばれたことを生かし、それぞれの分野で素晴らしい成果をあげられることを期待しております。改めて、今後の活躍をお祈りし、私からのお祝いの言葉といたします。